場所　２年１組教室

第２学年１組　社会科学習指導案

授業者　深谷　望未

１　単元「日本の諸地域　関東地方」
～修学旅行は、なぜ東京？～
探究課題「修学旅行の目的地は東京がふさわしいのか？」

２　本時の指導

（１）段階　「活用」　６／７　時間

（２）目標

・東京の経済的・文化的特色を踏まえて、自分の考えを表現することができる。
（「活用」に関わる目標）

（３）本時の指導展開

時間	学習活動	教師の手だてと支援
0	１　学習課題を確認する。 学習課題　修学旅行の目的地は東京がふさわしいのか？	
5	２　課題について全体で話し合う。 ・東京は、企業も多く集まっており、経済の中心になっていることが分かる。だからこそ、自分たちが就職することも踏まえて、東京を見に行くのではないか。 ・東京は、ものが集まってくるし、文化においても美術館などが多く集まっている。そういう部分から、東京が文化の発信地であると考えられるので、東京を目的地にしているのだと思う。	・自信をもって発言できるようにするために、ペアトークを行う。 ・多面的・多角的に考えられるように、「経済」「文化」「政治」「交通」の項目に分けて板書する。
25	３　資料を見て、学習課題について再度話し合う。 ・東京は、一極集中をしているから災害が起きた場合、かなり混乱すると思う。 ・被害が大きくなってしまうと、首都機能が働かなくなってしまう。 ・確かに災害が起きると、首都機能が維持できないが、災害はどこでも起こりうるから東京に行くべきだ。	**◎災害が発生すると首都機能が困難になることを捉えやすくするために、災害時（東日本大震災）の様子や首都直下型地震のシミュレーション動画を提示する。** ・東京の一極集中であることを捉えるために、「東京で、災害が起きたらどうなる？」と補助発問をいれる。 ・国も首都機能の維持・継続に向けて取り組んでいることを理解できるようにするために、「副首都法案」が提出されていることを伝える。
45	４　振り返りを書く。 「東京へ行くのは、就職などを考えると意味がある目的地になっている。だからこそ、来年の修学旅行ではしっかり学んできたい。そして、災害が起きると東京は機能できなくなってしまうから、副首都をつくるということは必要になってくると思う。これから、様々な地域を学んでいくので、常に意識して考えたい。」	・次からの学習につなげるために、「副首都はどこにあるといいのか」という視点で振り返りを書くように指示する。

３　評価

・東京の経済的・文化的特色を踏まえて、自分の考えを表現することができたか。
（全体での関わり合いの様子　振り返りの内容から判断する。）